

一 般 質 問 発 言 通 告 内 容

個人第1号 氏名 舟橋 秀和

質 問 項 目 No. 1	山下市長の3期にわたる市政について	備 考
要 旨	<p>平成23年2月に山下市長が就任して以来、3期12年が経過しようとしている。その間、様々な事業をスピード感をもって展開し、数々の実績を残してこられ、現在もなお市民の皆様「小牧に住んでよかった」「これからも小牧に住み続けたい」と思っただけのよう各種事業に取り組んでおられる。</p> <p>(1) これまでの市政運営について 3期目も残りわずかとなり事業のまとめに入っていると思うが、これまでの成果をどのように捉えているか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	「こども家庭庁」創設等に伴う市の取組について	備考
要 旨	<p>国では、子どもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押ししていくため、子ども真ん中社会を目指す「こども家庭庁」が創設されるとともに児童福祉法が改正され、市町村による包括的な支援体制が強化されることになる。</p> <p>(1) 法改正による子育て世代包括支援センターの運営について</p> <p>ア 子育て世代包括支援センターの運営について 児童福祉法の改正により、すべての市町村において、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの双方の設立の意義や機能は維持した上で見直し、すべての妊産婦、子育て世代、子どもへの一体的に相談を行う「こども家庭センター」の設置に努めることが定められた。 子育て世代包括支援センターは今後どのように運営されるのか、お尋ねします。</p> <p>イ 今後の職員体制について 要支援児童や特定妊婦等に対するサポートプランの作成が新たに市町村の事務に位置づけられ、必要な支援に繋げていくことになった。 現在の職員体制で実施することができるのか、お尋ねします。</p> <p>(2) ヤングケアラーの支援について 大人に代わって日常的に家事や家族の介護等の世話をするヤングケアラーを含む支援を必要とする「子育て世帯訪問支援事業」が市町村事業に位置づけられた。</p> <p>ア 今後、子育て世代包括支援センターが支援を担うのか</p> <p>イ 相談窓口について</p> <p>ウ コーディネーターの配置について</p> <p>エ ヤングケアラーの実態把握について</p> <p>オ 関係機関等の研修会の開催について</p> <p>(3) 成人の生理の貧困対策への対応について 子育て世代包括支援センターでは、令和3年度に災害備蓄品の入れ替えに伴う生理の貧困対策の一環として、成人向けに生理用品の配布を行ったが、継続的な支援が必要と考えるがどうか、お尋ねします。</p>	

質問項目 No. 1	小牧山城の整備について	備考
要 旨	<p>小牧市のシンボルである小牧山城。毎朝ラジオ体操をする方々や散策をする方、子ども達と遊ぶファミリーや市外からも多くの観光客が訪れています。また、来年放送の大河ドラマ「どうする家康」にも深く関連し注目を浴びています。これまでも園路の舗装工事や創垂館の改修、トイレの改修、山頂部分の整備などを行ってきました。しかし、まだ整備すべき箇所があります。</p> <p>(1) 五段坂について 令和2年第4回定例会にて園路について質問をしました。その後、大手道と交差する部分から山頂にかけて整備されました。小牧山城北側五段坂の整備は、その後どうなっていますか。</p> <p>(2) 北側の園路について 小牧山北駐車場からの出入口から西の園路は土が柔らかく、特に雨が降った後に自転車で走ると轍が出来、乾くとそのまま轍の跡が残るので危険であり、改善して欲しいと市民からの声です。 改善をお願いします。</p> <p>(3) 照明灯について 小牧山城内の照明灯の管理はどのようにしていますか。</p> <p>(4) 尾張徳川家第19代の銅像について 遡り平成24年第2回定例会にて小牧山城山頂にある歴史館の南側にある、徳川義親氏銅像の台座となっている御影石は、織田信長公築城当時の石垣の一部であり、とても貴重な石の為銅像を移設出来ないかと質問をしました。あれから10年。 今回移設する事を聞きましたが、経緯をお尋ね致します。</p>	

質問項目 No. 2	第26回参議院議員通常選挙について	備考
要 旨	<p>総務省選挙部によりますと、第26回参議院議員通常選挙で投票したのは5,466万242人で、投票率は52.05%でした。3年前の前回よりは3.25ポイント上回りましたが、過去4番目に低い投票率となりました。</p> <p>小牧市の投票率は、49.06%でした。令和3年第4回定例会では、衆議院議員総選挙の総括を質問しました。前回に引き続き質問を致します。</p> <p>(1) 期日前投票について 期日前投票場を2ヶ所から4ヶ所へ増やして2回目の投票となります。その効果・成果はいかがですか。</p> <p>(2) ポスター掲示場設置個所について 掲示場設置個所が分かりづらい、その地図が見にくいなどの声がありました。市としてその問題点を改善すべきと思いますが、所見をお願いします。</p> <p>(3) 投票済証について 選挙で投票した証明としてもらえる「投票済証」。店で提示すると割引サービスが受けられるなど、広がりを見せています。発行は、それぞれの自治体の判断に任されています。最近ではデザイン重視の投票済証も登場しており、「投票済証」は自治体によってデザインが違うのもポイントです。</p> <p>例えば、岐阜県可児市の「投票済証」には、市内の名所や可児市出身といわれる明智光秀が描かれたものなど、選挙毎にデザインが変わります。これをきっかけに投票率が上がる事も期待されます。本市への導入を提案しますが、いかがですか。</p>	



質問項目 No. 1	市民の安全・安心を守る防災について	備考
<p>要 旨</p>	<p>地震や台風、さらには集中豪雨など毎年全国各地で大規模な自然災害が発生している。</p> <p>台風や集中豪雨は気象庁などが事前にある程度の予報を発表するが、地震についてはなかなか難しく、突然災害に見舞われることとなる。</p> <p>本年3月には福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、大きな被害があったところであり、市民の安全・安心を守るためにも本市の防災体制に万全を期す必要がある。</p> <p>(1) 避難所の初動体制について 大規模地震が発生し、広域的な被害が発生した場合の避難所開設に向けた初動体制について問う。</p> <p>(2) 避難所運営について コロナ禍の中で大規模な地震が発生した場合、感染対策を取りながらどう避難所を運営していくのかについて問う。</p> <p>(3) 外国人に対する防災について 1万人を超える在住外国人には、防災情報をはじめ様々な配慮が必要である。市としてどの様な取組をしているのか問う。</p>	



質問項目 No. 1	公立保育園における土曜日の共同保育実施について	備考
要          旨	<p>(1) 実施に至る経緯について</p> <p>ア 議論の経緯を具体的に問う。</p> <p>イ 子どもたちの負担になるとは考えなかったのか問う。</p> <p>ウ 10月実施予定と聞くが、理由を問う。</p> <p>(2) 今後の計画について</p> <p>全園に実施していく計画と聞くが、子どものことを第一に考えるなら、子どもに負担となる共同保育を進めるのではなく、保育体制を充実すべきではないか、見解を問う。</p>	

質問項目 No. 2	民間保育園への公私間格差是正について	備考
要          旨	<p>(1) 公私間の格差について</p> <p>市の認識を問う。</p> <p>(2) 補助制度について</p> <p>ア 進捗状況を問う。</p> <p>イ 民間保育園の意見を聞くべきと考えるが見解を問う。</p>	



質問項目 No. 1	旧図書館解体工事について	備考
要          旨	<p>市の当初行ったアスベスト調査不足により異常な変更設計となり、解体工事請負契約1億4,500万円に対して約1億円増の約2億4,500万円となってしまった。</p> <p>市は「事前のアスベスト調査を慎重かつ丁寧にやっておけば当初から設計に反映できたと考えられる。その点については十分反省している。」との答弁があったが、では今後どのように対策をとるのか。</p> <p>(1) アスベスト調査について ベランダのゴム系シート防水の調査をしなかった理由を問う。</p> <p>(2) 今後の防止策について 問題点をふまえ対策を検討したのかを問う。</p>	

質問項目 No. 2	学校給食について	備考
要          旨	<p>子どもたちの命と健康を守るために学校給食を有機食材にする動きが国内でも広がっています。食は命であり教育よりも食育をともなわれています。</p> <p>(1) ユニバーサル給食について 実施までの過程を問う。</p> <p>(2) 食育指導の取組について 取組の内容を問う。</p> <p>(3) オーガニック給食について 国内でも安心安全な食材を取り入れ学校給食を実施する自治体が増えているが市における導入の考えを問う。</p>	



質問項目 No. 2	行政と旧統一教会等との関係について	備考
<p>要 旨</p>	<p>(1) 小牧市と旧統一教会及び関連団体等の反社会的行為が問題視される団体との関係について</p> <p>ア 過去3年間に市や教育委員会が、旧統一教会等が主催する行事等に対して、後援・祝電を出した、又は行政が出席・挨拶を行う等接触の有無について伺う。</p> <p>イ 過去に市や教育委員会が、寄附や寄贈を受けた等の接触の有無について伺う。</p> <p>(2) 山下市長と旧統一教会及び関連団体等との関係について</p> <p>ア 山下市長に対する寄附及び過去三回の市長選挙において、当団体及び関連団体等の反社会的行為が問題視される団体からの選挙協力の有無について伺う。</p> <p>イ 旧統一教会及び関連団体といった反社会的行為が問題視される団体と政治家との癒着の問題について、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 今後の行政運営における反社会的団体との接触が今後一切ないようにするための取組強化について</p> <p>全国的に、旧統一教会と関連があると考えられる団体が関与したイベントに対する後援名義の承諾などについて、関与の認識なく承諾していたことなどが問題になっているが、後援申請等に関して、基準は網羅的であるか、見直すなどの考えはあるか。</p>	

質問項目 No. 1	人口減少対策について	備考
<p>要 旨</p>	<p>厚生労働省の人口動態統計によると、2022年上半期の出生数は、前年同期比で微増だった1月を除き、2～6月の5か月はいずれも前年を下回った。これまで最少だった2021年上半期（40万5,029人）より2万87人減で、今年に入って少子化がさらに加速している。2022年の1年間を通じた出生数は過去最少を更新する可能性もあるとされており、本市においても、今年は0歳児、1歳児の人口が1,000人を下回る月もあり、本市も減少傾向にあると考える。小牧市まちづくり推進計画の将来人口の推移についても予測よりも早く進んでいると考える。人口減少に歯止めをかける為に以下について問う。</p> <p>(1) 人口動態について 小牧市まちづくり推進計画にある将来人口の推計を既に下回っているようにも捉えられるが現状の分析について問う。</p> <p>(2) 定住促進について 定住促進を図る為に本年度からは、補助金制度の見直し等を展開しているが現状について問う。</p> <p>(3) 少子化対策について 少子化対策として取り組んでいる政策について問う。</p> <p>(4) 晩婚化について ア 未婚率について問う。 イ 初婚年齢の推移について問う。 ウ 晩婚化対策の取組について問う。</p>	

質問項目 No. 2	こまきこども未来館について	備考
<p>要 旨</p>	<p>令和3年3月にオープンをしたこまきこども未来館は、多くの方にご利用いただけていると見受けられる。特に雨天時や長期の休み等多くの人で賑わっている。市内の方を優先に利用頂けるように、昨年議会でも市外の方に対する特定の日々の料金設定を行い、約1年が経過しようとしている。まだまだコロナの状況が改善されず、正常な利用者数を算出する事は、難しいと考えるが、ご利用いただいた方の声でもある、こまきこども未来館市外来場者アンケートも実施されていることから、今後も多くの方にご利用頂けるよう現状について問う。</p> <p>(1) 利用者について            ア 利用者の人数について問う。            イ 市内外の割合について問う。</p> <p>(2) 駐車場について            混雑時には車の入出庫に時間を要する事や駐車場を利用する事が出来なかったと言う声も聞くが実態について問う。</p> <p>(3) こまきこども未来館市外来場者アンケートについて            ア アンケートの総数について問う。            イ アンケートの結果について問う。</p>	

質問項目 No. 3	児童クラブの駐車場について	備考
要 旨	<p>児童クラブは、現在平日午後7時まで利用出来るようになり、大変便利になった。利用者のほとんどが車での送り迎えを要するため駐車場の必要性は非常に高くなっている。駐車場が隣接する小学校の児童クラブもあれば、近くに駐車場がなく、民間企業の駐車場を無断使用し、ご迷惑をおかけしているケースも聞くところである。児童クラブの駐車場の現状について問う。</p> <p>(1) 利用者について 車で送り迎えを行っている割合について問う。</p> <p>(2) 各小学校の駐車場の状況について 駐車場の整備状況について問う。</p> <p>(3) 近隣への影響について 民間企業の駐車場を無断使用しているケースもお聞きするが、市の対応について問う。</p>	



